

## 令和6年度（向の岡工業高等学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

### ○ 課題・目標別実施結果

課題	目標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上（法令の遵守、服務規律の徹底）	教職員に求められる高い倫理感の保持・向上に努め、「不祥事防止会議」による未然防止・早期発見体制の強化により、法令違反等による公務内外の不祥事をゼロとする。	○「教職員の倫理に関する指針」を基に、服務等公務内外の不祥事防止を周知・徹底した。 ○教育委員会不祥事防止職員啓発資料等を活用し、事故不祥事防止会議を実施し、法令順守意識の向上を図った。 【達成状況】良好である。
職場のハラスメント（パワハラ、セクハラ、マタハラ等）の防止	人権意識や知識を高めるとともに、パワハラ等に対する理解を深め、未然に防ぐ。	○教職員向け人権研修会を実施し、ハラスメント防止や人権感覚を身に付けるよう指導した。 ○挨拶の励行、職員の相談体制を周知するなどにより、風通しの良い職場づくりを進めた。 【達成状況】良好である。
生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	教育公務員としての自覚を一層向上させるとともに、性被害の深刻な影響に係る知識を高め生徒の人権に配慮した適切な行動をとることでわいせつ・セクハラ行為を未然に防止する。	○性被害の影響の理解を深めるため、各種資料等を用いて研修会を実施した。 ○定期的な生徒向けアンケート等を実施し、状況把握と未然防止に努め、教育相談コーディネーターやスクールカウンセラー等による相談体制を作り、組織的な対応に努めた。 【達成状況】良好である。
体罰、不適切な指導の防止	職員間の連携を緊密にし、指導・支援に係る適切な職員の対応に向けた体制を整え、体罰や不適切な言葉による指導をゼロとする。	○事故不祥事防止会議を毎月開催し、指導を徹底し、体罰・暴言等、不適切指導の根絶を図った。 ○生徒に対し、アンケートによる状況把握と、不適切な行為を受けたときの相談体制を周知し、組織的な対応を図った。 【達成状況】良好である。
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	すべての職員の選抜方法の理解を徹底し、入学者選抜業務における事故をゼロにする。また、成績処理、出願書類作成に係る業務を適切に行い、事故をゼロにする。	○業務マニュアル及び各種規定を周知徹底するため、校内研修及び業務従事前確認作業を徹底した。 ○成績処理の一部作業で不備があり、作業手順の点検と修正作業を行った。 ○成績処理に係る業務を見直し、マニュアルを作成し、手順の遵守を徹底し、適切な遂行に努めた。 【達成状況】一部業務に不備があり改善を行ったが、その他は概ね良好であった。
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報の適切な取扱いと情報の漏えいでの不祥事をゼロとする。	○対策重要度Ⅰの情報を適切に管理した。 ○個人情報の取得や校外持ち出しの際のルールを徹底し、未然防止に努めた。 【達成状況】良好である。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通事故及び飲酒運転をゼロとする。	○事故不祥事防止会議等で具体例をあげて安全運転や呼びかけ、交通法規遵守の意識を高めた。 【達成状況】良好である。
業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	職員相互に情報を共有し、協働することにより、不適切な業務執行をゼロとする。	○職員間での情報共有を適切に行い、また、職員連携による協力体制を確立した。 ○トラブル発生時の報告・対応等を適切かつ迅速に行った。 【達成状況】良好である。
財務事務等の適正執行	経理における適正な執行と処理を行い、備品の点検を徹底し、不祥事をゼロとする。	○会計担当者向け研修会を年3回実施し、適切な私費会計事務処理に努めた。 ○各教科やグループで、備品の点検を確實に行った。 【達成状況】良好である。

### ○ 令和6年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和7年度に取り組むべき課題 (学校長意見)

不祥事防止に向けて9項目の課題を設定し目標を定めた。事故不祥事防止会議を毎月実施し、不祥事防止の意識啓発を行ってきた。また、職員会議や始業時の打合せ等を通して、教職員が取り組むべき課題を共有し、意識の向上を図ることができた。一部業務作業の不備などもあり、マニュアルの整備や手順の点検等、改善を進めた。令和7年度に向けて、引き続き組織的な改善や意識啓発に努め、不祥事の根絶に取組んでいく。